地域科学 KKJ 出版ニュース 22~ハンドブック第 11 集

"審査システム 2018" への対応ーー

『科研費改革と研究計画書の深化』

〜新審査の要点と留意点/研究活動PDCA/ 新調書のチェックポイントと進化策〜

序 牛尾 則文

長澤 公洋・大澤 清二・岡野 恵子 著

◇10月15日刊行、予約受付中◇

爽秋の候、益々ご健勝のことと拝します。 10月15日に標記新刊を上梓いたします。

各大学・研究機関におかれては、11月7日の申請締め切りに向けて、教員・研究者及び支援スタッフの共働により、平成31年度公募の研究計画調書の作成とそのヴァージョンアップに精励のことと拝します。

科研費の「申請・獲得マニュアル」としては、ベスト著者陣に健筆を賜わりコンテンツの大幅な充実により、まさに"決定版"となりました。豊富なパワーポイントスライドは論点整理と要点把握に活用いただけます。

なお、9月3日公表の「公募要領」および6日の「公募説明会」資料のホット情報もフォローしております。昨年度に続く、計画調書構成の改訂への深い理解とともに、"いかに書き上げるか"の実践的ガイド書となっております。

いくつかの大学においては、本書を専任教員の全員に配布し、科研費の採択数増に貢献しています。3割の間接経費のベスト活用策となっております。特に、研修会に参画しない教員たちへのエールです。

つきましては下記の出版内容をご高覧の上、予約申込みをいただけましたら幸いです。また、ご関心 の各位にご転送。ご案内下さいませ。

□ 高等教育ハンドブック第 11 集 『科研費改革と研究計画書の深化』 | 著者 序 牛尾 則文氏/(独)日本学術振興会 理事 長澤 公洋氏/(国) 九州工業大学 理事・副学長 1 前(独)日本学術振興会 研究事業部長 2 大澤 清二氏/ 大妻女子大学 副学長 人間生活文化研究所長 3 **岡野 恵子**氏/(公)横浜市立大学 URA推進室 特任講師(URA) □ 構成 序 我が国の学術研究を支える科研費 1 科研費改革の動向と対応の留意点 2 科研費と大学人の研究活動PDCA 新研究計画調書作成のチェックポイントと進化策 資料編 □目次 序 我が国の学術研究を支える科研費 牛尾 則文氏 1. 科研費改革の動向と対応の留意点 長澤 公洋氏

- 1. 科研費制度の概要
 - (1)科研費の仕組み
 - (2)予算・申請・配分等の状況
 - (3)審査・評価システムの概要
- 2. 科研費改革の動向
 - (1)科研費改革の概要
 - (2)審査区分の見直し
 - 1)細分化した「分科細目」「キーワード」の廃止
 - 2)新たな審査区分~大区分・中区分・小区分~
 - (3)審査体制の見直し
 - 1)書面審査・合議審査方式の問題点
 - 2)新たな2つの審査方式の導入
 - <「総合審査」方式の詳細>
 - <「2段階書面審査方式」の詳細>
 - (4)審査システム改革の基本

- 1) 改革にあたっての基本姿勢と経緯
- 2)研究計画調書の大幅な改訂と要点
- <研究目的、研究方法など>
- <本研究の着想に至った経緯など>
- <研究代表者および研究分担者の研究業績>
- <研究費とその必要性>
- くその他>
- <評価に当っての評定要素>
- (5)研究種目の見直し
 - 1)日本の研究をめぐる危機
 - 2)研究種目の3つの見直し
 - <挑戦的研究の創設>
 - <若手研究の見直し>
 - <特別推進研究の見直し>
 - <挑戦的研究の詳解>
 - <若手研究見直しの詳解>
 - <特別推進研究の詳解>
 - <公募・内定・交付のスケジュール>
 - <審査の全体像>
 - <科研費の平成31年度概算要求>
 - < 若手支援プラン (CIO) >
- 3. 科研費の管理と適正な執行
 - (1)科研費の使用ルール
 - <基金化の導入>
 - <補助金に「調整金」枠>
 - <柔軟から適正な研究費使用の管理>
 - <直接経費と間接経費>
 - <適切な執行管理>
 - (2)不正使用・不正行為への対応
 - (3)研究成果の公開, 普及・啓発
 - (4)まとめ
- 4. Q&A (セミナー参加者からの質問と回答)
 - Q1 国際協同研究のための科研費利用について
 - Q2 申請書を英語で書くことの位置付け
 - Q3 英語審査によるインセンティブの有無
 - Q4 所属変更における研究倫理教育再受講
 - Q5 博士学位取り直しの際の「若手研究」要件
 - Q6 「若手研究」の見直し
 - Q7 「人権の保護および法令等の遵守への対応」欄のページ増加理由
 - Q8 審査結果開示の変更

- Q9 英語の申請書に対する審査委員の振り分け
- Q10 「基盤研究」における「過度の重複」の程度
- Q11 オープンアクセスジャーナルの評価
- Q12 採択結果の公示と審査
- Q13 2段階書面審査における一部の高・低評点
- Q14 使用ルールに関する通達や事務連絡
- 5. 平成31年度研究計画調書の主な変更事項
- 〈参考資料 1〉 平成 31 年度科研費公募の主な変更点等
- 〈参考資料- 2〉 応募資格及び応募時の注意事項
- 〈参考資料ー 3〉 平成 30 年度審査の評定基準等
- 〈参考資料- 4〉 科学研究費委員会組織図
- 〈参考資料-5〉 平成30年度審査結果一覧(新規採択分)
- 2. 科研費と大学人の研究活動PDCA

大澤 清二 氏

はじめに

- 1. 人間生活文化研究所の使命と活動
 - (1)研究所の使命と概要
 - (2) 研究活動の PDCA サイクル
 - 1) 学内の競争的研究費制度の概要
 - 2) 科研費獲得のための研修会「科研塾」
 - 3) 学内競争的資金「戦略的個人研究費」
 - 4) 学内競争的資金「共同研究プロジェクト」
 - 5) 若手研究者向け学内競争的資金
 - (3)オンラインジャーナルと研究 PDCA
 - 1) オンラインジャーナル『人間生活文化研究』
 - 2) 電子書籍『Otusma eBOOK』
 - 3) 『人間生活文化研究所ニューズレター』
 - (4) 研究 PDCA のエンジンとしての科研費
- 2. 科研費申請のホップ・ステップ・ジャンプ
 - (1)科研費申請の最初の一歩
 - (2)申請を躊躇する方に知ってほしいポイント
 - (3)審査についてのポイント
 - (4)理想の申請書は「英雄譚」のように
- 3. 具体的な申請書作成のポイント
 - (1)研究計画調書の「構造」の把握
 - (2)着想に至った経緯をどう書く
 - (3)良い「研究方法」は明解で具体的に
 - (4) 改訂申請書の変更点と戦略
 - (5)人権の保護と法令遵守

- (6)「研究体制」で失敗しないように
- (7)分担金が不自然でないように
- (8)審査を意識した計画調書の作成
- (9)審査規程等と事務レベルでチェックできるポイントなど
- 4. 提出前に確認すべき重要事項
- 3. 新研究計画調書作成のチェックポイントと進化策

岡野 恵子氏

はじめに

- 1. 何を書くべきか――内容編
 - (1)全体構成上のポイント
 - (2)研究目的、研究方法など
 - (3)本研究の着想に至った経緯など
 - (4) 応募者の研究遂行能力及び研究環境
 - (5)その他のポイント
 - (6)「挑戦的研究」の留意点
 - (7)「新学術領域」の留意点
- 2. どのように書くべきかーー書き方編
 - (1)論理的な記述の要点
 - (2)研究目的、研究方法など
 - 1)概要
 - 2)本文
 - (3)本研究の着想に至った経緯など
 - (4) 応募者の研究遂行能力及び研究環境
- 3. どのような支援があるか

4. 資料編

- 1. 平成 31 年度科研費公募要領〈抄〉
- 2. 科研費「審査区分表 | 〈抄〉
- 3. 基盤研究(C)(一般)研究計画調書

※内容は一部変更になる場合があります。

■本書の体裁等

- B 5 判 約 210 頁
- ・予価(税・送料込) 6,500円(本体 6,019円)
- 予約前納特価(税・送料込) 6,000円(本体 5,556円)
 - ※予約前納特価は2018年10月15日(月)までにご予約、代金を前納いただく場合に限ります。 また、恐れ入りますが、「予約前納特価」について書店様は対象外です。
- •発刊 2018年10月15日

■申込方法

所要事項を記入のうえ、下記まで E-mail または FAX をお願いいたします。

- 1. 書籍名『科研費改革と研究計画書の深化』及び冊数
- 2. 勤務先:大学・企業名、住所、Tel、Fax
- 3. 申込者名:氏名、所属部課・役職名、メールアドレス
- 4. 請求書等宛名:大学・法人・団体名(2. と異なる場合)
- 5. お支払い予定日:確定している場合は、お知らせください。
- 6. その他の特記事項:見積書の要・不要、

請求書の要・不要(日付記載の有無)など

*お申込み E-mail アドレス

kkj@chiikikagaku-k.co.jp

*お申込みファクシミリ番号

03-3234-4993

※ご不明な点等ありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。 (問い合わせ電話番号: 03-3234-1231)

■支払方法

銀行振込・郵便振替があります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替:00110-8-81660

□座名:(株)地域科学研究会

※ご請求なき場合は、振込受領書を領収書に代えさせていただきます。